

## シーカ®モノトップ612J

### 高強度ポリマーセメントモルタル

**概要** シーカ®モノトップ612Jは、特殊粉末樹脂と短繊維をプレミックスした1成分形の高強度ポリマーセメントモルタルです。水と混合するだけで、高強度で耐久性に優れたポリマーセメントモルタルを容易に作製することができます。

**用途**

- 中性化、塩害などで損傷した高強度コンクリートの断面修復
- 天井、床、壁、コンクリート製品のジャンカ部の補修
- コンクリート製品のカケ補修
- 下地の調整
- 下地の増厚

**特長**

- 水と混合するだけで高品質のポリマーセメントモルタルを製造できます。
- 吹付け施工、左官施工が可能です。
- 材令28日で50～65N/mm<sup>2</sup>程度の高強度が得られます。
- 短繊維が混入されており、高いひび割れ抵抗性を有します。
- 粉体ポリマーが含有されているため、優れた接着力、防水性能、および低収縮性を有しています。
- 日本道路公団コンクリートはく落防止対策マニュアル「モルタル工の断面修復材の品質規格」を満足していることを社内試験で確認しています。

#### 製品規格値

試験項目	試験方法	条件	規格値
密度	JIS A 1171	20℃	2.15±0.10g/cm <sup>3</sup>
長さ変化率	JIS A 1129	20℃・28日	0.05%以下
圧縮強さ	JIS R 5201		50N/mm <sup>2</sup> 以上
曲げ強さ	JIS R 5201		6.0N/mm <sup>2</sup> 以上
付着強さ	建研式引張試験		1.5N/mm <sup>2</sup> 以上

※本規格値は、水粉体比=16%（本製品:水=25:4）で練り混ぜたモルタルの値です。



## 技術資料

主成分	セメント系粉体
外観	グレー色粉体
混合比	粉体:水=25:4.0 (重量比) 水粉体比=16% ※練上がり時の軟らかさを調整する必要がある場合は、 粉体:水=25:3.8~4.2の範囲で水量の調整を行って下さい。
施工温度	5℃~35℃
凝結時間	始発2時間20分 終結2時間50分
保存期間	未開封で6ヵ月
荷姿	25kg/袋
標準使用量	25kg/袋あたり約1.3m <sup>2</sup> (塗り厚10mm)

## 性状・性能

水・粉体比=16%の場合

		条件	
フロー値 JIS R 5201	20℃・0分後	190mm	
	20℃・30分後	181mm	
	20℃・60分後	173mm	
密度 JIS A 1171	20℃	2.15g/cm <sup>3</sup>	
圧縮強度 JIS R 5201	20℃・1日	25.8N/mm <sup>2</sup>	
	20℃・7日	53.5N/mm <sup>2</sup>	
	20℃・28日	65.2N/mm <sup>2</sup>	
曲げ強度 JIS R 5201	20℃・1日	5.0N/mm <sup>2</sup>	
	20℃・7日	7.4N/mm <sup>2</sup>	
	20℃・28日	9.1N/mm <sup>2</sup>	
付着強度 建研式引張試験	20℃・7日	2.4N/mm <sup>2</sup>	コンクリート破断
	20℃・28日	2.5N/mm <sup>2</sup>	コンクリート破断
長さ変化率 JIS A 1129	20℃・28日	-4.8×10 <sup>-4</sup>	
熱膨張係数	20℃・28日	1.4×10 <sup>-5</sup> /℃	
付着強度 JHS416 (1999)	湿潤時	1.8N/mm <sup>2</sup>	コンクリート破断
	耐アルカリ性試験後	1.7N/mm <sup>2</sup>	コンクリート破断
	温冷繰返し試験後	1.7N/mm <sup>2</sup>	コンクリート破断

## 施工方法

### 下地処理

施工面に汚れ、レイトンス、油脂分、塗料などが付着している場合は、ワイヤブラシ、サンドブラストなどを使用して除去し、健全な下地を露出させて下さい。鉄筋などが錆びている場合は錆を落とし、必要に応じて防錆材塗布などの処理を行って下さい。

### 混合

ハンドミキサーでの混合の場合

- 本材料1袋に対し、水3.8～4.2リットル(標準4リットル)を練混ぜ容器に入れ、電動ミキサーを用いて攪拌しながら本材料を全量投入し、均一になるまで3～5分程度攪拌して下さい。その際、多量の空気を巻込まないように注意して下さい。

パン型ミキサーでの混合の場合

- ミキサーに本材料を全量投入し、本材料1袋に対し、水3.8～4.2リットル(標準4リットル)の範囲で水を投入し、均一になるまで5分程度攪拌して下さい。

使用量が比較的少ない場合は、水粉体比=15.2～16.8%(標準16%)となるように計量した後、混合して下さい。

必要に応じて強度などの確認を行って下さい。

規定量以上の水を添加しないようにして下さい。

### 施工

- 下地を十分に湿らせて下さい。

- 左官による施工の場合は、3～5mmの厚さで、しごくように材料を塗布して下さい。1回当たりの塗り厚は20mm程度を限度とし、塗り厚が20mm以上の場合は1回目の材料がしまった後、塗り重ねて下さい。

- モルタルポンプを用いた吹付け施工の場合は、1回の施工厚さを壁面で30mm、天井面で20mmを限度に行って下さい。施工厚さがこれを超える場合は、数回に分けて施工して下さい。

### 養生

施工後は直射日光や風などが当たらないようにシート養生などを行って下さい。また、寒冷時には保温養生を行って下さい。

### 洗浄

施工後、使用した施工器具は、材料が硬化する前に水で洗浄して下さい。

## 注意

取扱い	セメント系粉末で、強いアルカリ性を示します。皮膚との接触により、刺激を起こすことがあります。セメント系粉末の粉塵を長期間吸引すると塵肺になる恐れがありますのでご注意ください。手袋、防塵マスク、保護メガネの着用をお勧めします。詳細は製品安全データシートを参照して下さい。
救急法	皮膚に付着した場合は多量の水で洗浄して下さい。異常があれば医師の診断を受けて下さい。目に入った場合は、直ちに多量の水で洗い、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませて吐かせ、医師の診断を受けて下さい。
保管	湿気や水を避けて保管して下さい。保管中の湿気の浸入や結露を防止するために、地面と床の間、壁面との間に十分な隙間を設けて下さい。多量の積重ねによる粉体の固結や袋の損傷を防止するために、積重ねは10袋以下にして下さい。
廃棄	使用後の材料・容器は、関連する法規に従って廃棄して下さい。

シーカ製品の適用および使用に関する情報および勧告は、当社の最新の知識および経験に従っているものであり、通常の条件下で適切に保管、処理および適用されることを前提としております。実際には材料、接着面および現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面での勧告、その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また、法的関係から生ずる責任をもたらすものでもありません。第三者の権利は尊重されなければなりません。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注されます。ユーザーは常に使用する製品のプロダクト・データ・シートの最新版に留意して下さい。プロダクト・データ・シートの最新版はご請求いただければ当社が提供いたします。



日本シーカ株式会社  
化成系営業開発本部  
〒254-0021 神奈川県平塚市長瀬1-1  
TEL 0463-23-1301 FAX 0463-21-1316  
<http://www.sika-japan.co.jp/>

